

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和3年3月15日

事業所名：放課後等デイサービス ココ はなのき

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が適切であるか	4	5		設備基準を遵守した利用スペースで活動によってはグループ別に実施しています。	事業開始初年度ということもあり、曜日によっては状況を見ていました。今後できる限り利用ニーズに応えていける様に検討します。
	2 職員配置数が適切であるか	8	1		各曜日、人員基準に加えた職員配置となっています。	
	3 設備のバリアフリー等安全に配慮しているか	9			ユニバーサルデザイントイレの設置や、必要な保護者はエレベーターの利用をされています。	
業務改善	4 業務改善のためのPDCAに職員が参画しているか	6		3	プログラム日案を職員間で作成し、実施しています。	サービス終了後の振り返りや、毎週の会議で適宜確認をしているが、今後職員間で共有し、業務改善を図ります。
	5 保護者向け評価表などでアンケート調査を実施し、保護者意向の把握、業務改善ができていますか	7	2		自宅と学校でのお子さんの様子の変化について、アンケートを実施しました。	保護者向け評価表を含めアンケートの結果を受けて、利用者のニーズに合わせて来年度の事業展開の中で調整し、業務改善に繋がるように努めていきます。
	6 自己評価結果をHP等で公開しているか		9		令和2年9月より事業開始	ホームページで公開予定。
	7 第三者外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	1	7		今後必要に応じて検討します。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	2	2	定期的には花ノ木医療福祉センター主催の所内研修に参加しています。また支援に係る勉強会に参加できる職員に向けて実施しています。	今後必要に応じて検討します。
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	9			事前にご家族からの聞き取り内容と、利用開始後間もなく本人の状態評価を行い個別支援計画を作成しています。	
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	2		ビジョンアセスメントWAVESを活用しています。一部新版k式等も参考にしています。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	9			プログラム日案を職員間で作成し、実施しています。	
	12 活動プログラムが固定化しない工夫をしているか	9			子どもの利用中の様子から毎週の会議で、活動内容と流れを適宜微調整をしています。	
	13 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービスを計画しているか	9			子どもの個別のニーズに応じて、個別対応と集団活動を実施しています。	
	14 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9			欠席状況も踏まえ、当日までに都度行っています。	

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
	15	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点を共有しているか	9			サービス終了後に実施しています。	
	16	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	4		個別支援計画の評価につながる支援記録や面談記録を残しています。	個別支援計画の評価は今後予定であり、記録内容に見直す必要があれば今後取り組んでいきます。
	17	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	2	6	1	毎週の会議でケースカンファレンスを出来る限り実施しています。	個別支援計画の評価は今後予定であり、必要に応じて見直していきます。
	18	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	9			職員間で共有し、実施しています。	
関係機関や保護者との連携	19	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8	1		担当者が情報集約し参画しています。	
	20	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5	4		基本保護者を通じて下校時刻の確認や連絡調整は行っています。	学校の長期休業日の確認等、今後も必要に応じて保護者の方を通じて実施してまいります。
	21	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	6	3		同法人内の児童発達支援利用していた児童については、必要に応じて職員間の連携を図っています。	
	22	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	6		本事業所が児童発達支援センター内での事業であり、また圏域発達障害者支援センターも併設され職員間の日常的な交流はあります。	今後必要に応じて連携を図ります。
	23	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		6	2		今年度参加要請はありましたが、出席できませんでした。今後参加できればと思います。
	24	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9			普段より、その日の活動での出来事を肯定的に伝え、お子さんの家庭での頑張られる様子をお聞きし、共有しています。	
保護者への説	25	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	2	6	必要に応じて、個々の児童に対する対応について、保護者と話をする際に留意をしています。	相談等を通じた保護者支援は重要な点と認識しております。今後スタッフ間での共有をしていきたいと思っています。
	26	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	9			必要に応じて、追加説明をしています。	
	27	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9			連絡ノート等でお伝えいただく内容については、時間を置かずにお話をさせてもらっています。	
	28	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	8		1	保護者交流会を実施しました。保護者の方同士の悩み等を聞いて良かったと感想をいただきました。	今後も定期的にも実施ができればと思います。
	29	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦言があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	2		苦情受付窓口を設置しており、契約時に説明、速やかに対応出来る体制があります。	保護者よりお聞きした内容について説明し、対応について職員間で共有するように努めております。今後状況に応じて個別の面談設定なども考えてまいります。

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
明責任等	30 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	9			月1回お便りにて発信しています。	
	31 個人情報に十分注意しているか	9			写真や動画の同意については事前に確認をとり、適宜必要に応じて再度確認をとります。	
	32 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9			面談のお知らせ等は極力書面にて行い、読みやすい字体にも配慮をしています。	
	33 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を行っているか	1	2	6		・地域貢献の意味合いから利用している子どもとは別に、一般的な支援についてお話できる機会がもてるか検討していきます。
非常時等の対応	34 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	9			各種マニュアルの概要を保護者の方にはお渡ししています。詳細は職員間で共有しています。	
	35 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9			児童発達支援センター全体で年1回避難訓練を行っています。放課後等デイサービス利用の子ども達は避難経路を訓練に歩きました。	
	36 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	5		虐待防止に特化した研修は花ノ木医療福祉センター主催の研修にて研修機会をもっています。	
	37 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	2	3	2	現時点ではやむを得ない事態はありませんが、子どもの様子に応じて複数職員による個別対応を実施しています。	今後、契約の機会を通じて説明を行う事と、必要に応じて計画に位置づけ、利用者に説明と了解を得ていきます。
	38 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	1		現在食物アレルギーのある子どもがいない状況。苦手なおやつについては無理強いせず、自宅に持ち帰ってもらっています。	
	39 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8	1		適宜共有しています。	